災害に関する情報

避難の心得

災害時の避難は身を守るために最も重要なことです。安全な場所に「早めに避難」することが大切です。日ごろから「自分たちの命はまず自分で守る」という心構えを持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。また、災害にあっても常に落ち着いて行動できるように考えておきましょう。

- **避難の指示があった場合は、速やかにその指示に従いましょう。**
- **隣近所の人たちと声を掛け合って集団で避難しましょう。**
- **避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。**
- **必ず徒歩で避難し、自動車は使わないようにしましょう（自動車を使用すると道路渋滞を招き、消火活動や救急救助活動の妨げとなります）。**
- **避難する前に、ガスの元栓は閉め（プロパンガスは、ボンベのコックも閉める）、停電の際には電気器具のスイッチ、電気のブレーカーを切っておきましょう。**
- **ラジオ、テレビなどの災害情報を良く聞き、慌てず落ち着いて行動しましょう（NHK総合テレビのデータ放送で、避難が必要な地域の詳細な住所を公表しています）。**
- **ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認しましょう。札幌市の浸水・土砂災害のハザードマップは、以下のキーワードで検索し、ご確認ください。**

札幌市浸水ハザードマップ　　札幌市土砂災害ハザードマップ

風水害時の避難の目安

警戒レベル１と２は気象庁から発表、3～5は市から発令します。

低 ← 緊急度 → 高

警戒レベル１	警戒レベル２	警戒レベル３	警戒レベル４	警戒レベル５
早期注意情報 気象警報が出る可能性を発表。気象情報に注意。	**大雨・洪水・高潮注意報** 気象注意報を発表。避難先や経路などの確認を。	**高齢者等避難※1** 避難に時間を要する方は、危険な場所から避難開始。	**避難指示** 災害が発生する恐れが高い状況。 危険な場所から全員避難行動※2！	**緊急安全確保** すでに災害が発生または切迫している状況。 命の危険 直ちに安全確保!

※1　避難に時間を要する方以外の方も避難の準備を整えてください。
※2　避難場所といった安全な場所への移動（立ち退き避難）だけでなく、建物の上の階に移動（垂直避難）するなど、状況に応じた身を守るためのあらゆる行動のこと。

緊急連絡先　※市外局番はすべて 011 です。

- **火事の発生場所（自動案内）**　201-0011
- **けがの当番病院（自動案内）**　201-0099
- **救急医療相談、医療機関案内**
  救急安心センターさっぽろ（24時間、365日対応）#7119 または　272-7119
- **夜間急病で受診したいとき**

	診療科・開設時間	所在地	電話番号
夜間急病センター（365日対応）	内科・小児科：19時～翌7時 耳鼻咽喉科・眼科：19時～23時	中央区大通西19丁目WEST19	641-4316
口腔医療センター（365日対応）	歯科：19時～23時	中央区南7条西10丁目	511-7774

- **電気がつかないとき**　北海道電力（株）　0120-06-0327
- **ガス漏れのとき**　北海道ガス（株）　0570-009190（ナビダイヤル）　※ナビダイヤルを利用できない場合　792-8100
  ※プロパンガスについては最寄りの取引販売店へ
- **水道の夜間・休日の緊急連絡先**　水道局電話受付センター　211-7770

非常持ち出し品・備蓄品

次の例を参考に、家族構成や年齢に応じて、非常持ち出し品・備蓄品を用意しておきましょう。
避難場所へは、非常持ち出し品を持って避難しましょう。

停電への備え

平成30年９月６日の北海道胆振東部地震では、道内各地で長時間にわたり停電となりました。
停電は日常生活にさまざまな支障をきたします。日ごろからの備え・準備を心掛けましょう。

カセットコンロや発電機を準備しましょう	モバイルバッテリーを準備しましょう	車のガソリンは多めに入れておきましょう	水を確保しましょう
IH調理器や給湯・暖房設備は使用できません。カセットコンロやポータブルストーブ、発電機などを準備しましょう（オール電化の家庭は注意しましょう）。	携帯電話やスマートフォンは、家族との連絡や情報の入手に有効です。日ごろから充電を心掛け、モバイルバッテリーを準備しましょう。	車が使えると暖を取れるほか、テレビ・ラジオの視聴やシガーソケットからの充電が可能です。日ごろからガソリン多めを心掛けましょう。	断水し、トイレが流せなくなります。お風呂に水をためるなど、水を確保しましょう（マンションの高層階にお住まいの方は注意しましょう）。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害が発生し、安否確認などの通話が殺到して電話がかかりにくくなった場合でも、伝言の録音・再生により被災地の家族や親族・知人などと連絡を取ることができます。ご利用方法は、「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音や再生を行います。

※詳しい内容は、NTT東日本のホームページ（https://www.ntt-east.co.jp/saigai/）で確認してください。

防災アプリ「そなえ」

そなえ SAPPORO

気象や避難に関する情報が見られるほか、地図や災害シミュレーションで自宅周辺の避難場所や危険性を調べられます。

AppStore　GooglePlay